

ザ・ワイキキ・エディション 2010年10月15日にいよいよオープン

注目の新ホテルブランド「EDITION」の第1号ホテルがワイキキに

2010年10月



最新ホテルブランド、EDITION（エディション）が、その第1号ホテルをハワイのワイキキに2010年10月15日にオープンします。この新ブランドのデビューを飾るワイキキの新ホテルは、パーソナルなサービスに徹底した高級ブティックホテルで、全世界でホテル展開をしているマリオット・インターナショナルの新ブランドとして誕生しました。ザ・ワイキキ・エディションは、ホテル経営のプロ集団ならではのホテルオペレーションと、繊細なもてなしを融合し、洗練された個性あふれるサービスと魅力的な居心地の良さを提供し、ライフスタイル型のホテルの歴史に新たな時代を築くでしょう。

ハワイ諸島の伝説の島、オアフに建つザ・ワイキキ・エディションは、ワイキキでも人気のサーファーズ・ビーチやマリナー、そして世界トップクラスのショッピングエリアに程近いプライベート・オアシスに位置します。リュクス、シンプル、かつモダンなこのアーバン・リゾートは、“もてなし”の世界に新風を巻き起こします。素晴らしいデザインとイノベーションを、パーソナル、フレンドリー、モダンで最高のサービスと融合させ、ユニークな食事や飲み物、エンターテインメントとともに、全て一つ屋根の下に集約させました。

建築家ジョージ・ヤブ、グレン・ブシェルバーグ、さらに造園デザイナーのデボラ・ネヴィンズのコラボレーションにより完成したザ・ワイキキ・エディションは最高クラスのダイニングとエンターテインメントをゲストやローカルの皆様にご用意しています。ハワイの植物やココナツ椰子の葉が生い茂るガーデンに一歩足を踏み入れ、ダブルサイズのチーク材のシャッターをくぐり抜け、ホテルのロビーへと歩むと、そこにはエネルギーにあふれ、エキサイティングで魅惑的な秘密の世界への入口が、ゲストの期待感をいやがうえにも高めるでしょう。

長いロビーの眺めと、随所に配された彫刻、自然の形を利用したデザインは、壁の向こうに広がるサーファーズの楽園を彷彿とさせます。壁のはじからはじまでサーフボードが大胆に飾られたドラマティッ



クオオブジェは世界的に有名な元プロサーファーで、現在はアーティストとして活躍するハービー・フレッチャーが手がけました。これはケリー・スレーター、アンディー・アイアンズ、ミック・ファニング、ジョエル・パーキンソン、ネイサン・フレッチャー、ブルース・アイアンズやクリスチャン・フレッチャーをはじめとした一流のパイプラインサーファーたちが使用し、壊れたサーフボードを100個以上も集め、再利用したものです。合板を自然でオーガニックな形に削り、ハワイ現地に伝わる伝統的なサーフボード作りの技術を施すことで完成したレセプション・デスクの上にもこのサーフボードが掲げられています。

ザ・ワイキキ・エディションのプールは、昼夜を問わずホテルの賑やかな雰囲気映し出す場所です。映画のワンシーンのような階段をロビーからホテルの中心部分へ上がると、ゲストは活気にあふれエキゾチックなホテルの内部へと導かれていきます。2つのユニークなプール、プライベート・ビーチ、バー、トロピカル・ガーデン、屋外映画館、モリモト・ワイキキ・アット・エディションなどが、完璧なリゾート空間として、さらにプライベート感のあるアウトドア・プレイグラウンドとして様々な体験を提供いたします。

非日常的なこのスペースにあるサンライズ・プールは太平洋のうつろいゆく色を描き出し、また浅部に置かれた寝椅子でのくつろぎは、まるで水の中に浮いているような感覚にさせてくれることでしょう。1日中太陽と共にくつろぐ空間を提供するチーク材の寝椅子や大きなデイベッドは、古いグレーのチーク材のデッキ部分によく似合います。20本以上のハワイ特有のオートグラフ・ツリーの成木や、ピンクのブーゲンビリア、芳しいジャスミンなどが緑豊かなガーデンを形成し、隠れ家のようなバー・アット・サンライズ・プールでは、終日夜遅くまでカクテルやフル・バー・メニューをお楽しみいただけます。バーのスツール、ピクニック・テーブル、さらに提灯型の照明等の小物がリラックスした、あたたかみのあるリゾート滞在を演出します。屋外映画館はサンライズ・プールからも、別に設けられたプールからもお楽しみいただけます、映画のみならず、ビデオやアートもご覧いただけます。



サンライズ・プールと庭園に隣接するのは、インドア&アウトドアのリビングをイメージする大きなラナイ（ベランダ）です。天井に木製のファンが設置され、壁のないラナイではトロピカル・プランテーション・ハウスの長さを生かした回廊のようなベランダを彷彿とさせ、つかの間の立ち寄り、ちょっとした休憩、読書や軽い食事、そして、ただ休暇を楽しむ人々を眺めるにも最適な場所です。

長く、ラグジュアリーなロビー・バーが広々としたグラウンド・フロアの中心に設けられています。自然の素材、オーガニックな形や薄い色調の独特な家具や大きなソファが配されたスペースは人と会い、会話を楽しみ、リラックスした時を過ごす最適なスペースがいくつもあり、そこではフルサービスのカクテルやバー・メニューをお楽しみいただけます。印象的な回転書架にはローカル・アーティストによる数々のアートが展示され、さらに収集された唯一の作品や、書籍、そしてメモラビリア（記念品）等が飾

THE
WAIKIKI
EDITIONSM



られています。ロビー・バーを分ける壁のような役割をするこの書架の存在が、よりプライベートな会話を楽しめる空間を生み出しています。ホテルの中枢部が集まる2階へと続くコンクリートの階段をロビーから望むと、ゲストは新しくエキサイティングな発見への入口に胸を躍らせることでしょう。

のんびりとした時を過ごすにも、遊ぶにもパーフェクトなプライベート・サンセット・ビーチ&バーは、雑踏から離れひっそりとした隠れ家的なスペースで、友人やビジネスパートナーと会う場所としても魅力的です。当ホテル

独特の環境とも言えるプライベート・ビーチ越しに望む海、ラウンジチェアが並ぶ丸い浅瀬のラグーンも魅力的です。椰子の木や様々なハワイの原生植物が生い茂るガーデンに囲まれ、エキゾチックなオアシスを彷彿とさせるこの場所は、星空の下では提灯やキャンドルに照らされるロマンチックな空間に変身します。夜のプライベート・サンセット・ビーチ&バーでは、星を眺めながらお気に入りの飲み物を片手に楽しいひとときを過ごすスペースへと変化を遂げます。

健康を追求する取り組みの一環として、ザ・ワイキキ・エディションではサーフ&ビキニ・ブートキャンプを行っています。ゲストは緑豊かな環境の中で自分の可能性を最大限に引き出し、活力を取り戻し、さらに体重もサイズもダウンさせ、体をひきしめることができます。他にもワイキキの美しい風景に囲まれてのヨガや、バイク（自転車）、ハイキング、さらにパーソナルなスパ・メニュー、トレーナーによる個人向けのフィットネス・プログラム、ビーチでのサーフィン・レッスンを通し、女性はビキニが似合い、男性はサーファーのような体型を手に入れるお手伝いをします。

世界的に有名な日本人シェフ森本正治が、モリモト・ワイキキ・アット・エディションにて素晴らしい創作料理を紹介します。和と洋の素材を融合させ続ける彼の料理スタイルは、あらゆる類似点をそつなく融合したスタイルを貫く当ホテルにとてもよく似合います。モリモト・ワイキキ・アット・エディションのデザインも、伝統的な和風の要素をハワイ諸島のスピリットと合わせています。森本正治シェフが季節に合わせていくお造りや寿司のメニューは、常に旬の魚をハワイの海から選び抜き、同様に現地で採れる旬のフルーツや野菜を取り入れていきます。代表的なメニューには、オセトラ・キャビア、生クリーム、わさび、アボカド、大葉とだし醤油を添えたトロのタルタルや、生のマグロ、アンチョビのアイオリとハラペーニョを使ったマグロのピザ、さらにピベットに入った5種のソースを楽しむモリモト・サシミ（トロのたたきのテリーヌ、スモーク・サーモン、ウナギのバーベキュー、マグロ、ハマチ等）などがあげられます。



ザ・ワイキキ・エディションにあるクレイジーボックス・ナイトクラブでは、地域でも最高のナイトライフを提供します。ゲストが錆びを模した大きな扉を通り抜け、階段を上ればそこはまるで別世界です。最高の音楽に身を任せ踊る人であふれ、まるでニューヨークのアンダーグラウンドなナイトクラブやスピークイージー（隠れ酒場）のようです。30フィートもの長さの錆びを模したスチール製のバーがゲストを迎え、天井から下がるユニークな彫刻デザインの照明には全部で4万個以上の再生されたアンティークの電球が使用されています。この独特の照明はこれまでのナイトクラブのライティングとは一線を画しています。上階のVIP用特別セクションは秘密の専用エントランスからアクセス可能で、ダン

THE
WAIKIKI
EDITIONSM

スフロアを見下ろす角度に配置されています。起伏のある銀のレザーの長いすはヤブ・プシエルバークによるデザインで、照明とサウンドシステムの担当は、マイケル・ジャクソンのロンドンでのファイナル・コンサートも手がけていたクリア・ブラザーズです。



ザ・ワイキキ・エディションのラグジュアリーな353の部屋やスイートは、自然の色合いや暖かな木材の風合いを生かし、ユニークなデザインをプラスすることで落ち着きのあるオーガニック&ラグジュアリーを演出し、自宅から離れていながらにして、あたかも自宅でくつろぐような感覚でお楽しみいただけます。各部屋には大きな窓があり、街やプール、ヨットハーバーや太平洋を望むことができます。大部分の部屋にはテラスを備え、スライド式のルーバードアでシャッターの影を作り、日差しや街、海からの眺めを遮ることが可能です。17階には、贅沢なスタイリングを施した1,500平方フィート(約139㎡)のペント

ハウスと部屋を囲むように1,400平方フィート(約130㎡)の庭園テラスが配され、それはまるでラグジュアリーなアパートメントのように屋内外で、個人邸宅のようなプライベート感でご利用いただけます。オアフ島のハーバーや海を広く眺めるペントハウスにはオリジナルのアートワークが飾られ、プライベート・ダイニング・ルーム、キッチン、エンターテインメント・センター、ライブラリーとベッドルームが完備されています。さらにホテルには、小さなグループにも最適な1,300平方フィート(約120㎡)のサン・スイートがあり、西側に開く窓からはワイキキの素晴らしいサンセットを望むことができます。

ザ・ワイキキ・エディションには、大きなイベント用のスペースも完備しています。オアフ島最大クラスのラグジュアリーなボールルームは9,200平方フィート(約850㎡)の広さを誇り、920名が着席可能です。ボールルームは落ち着いた薄い色合いでまとめられ、古いオーク材の梁、手作業でペイントされた草素材のクロスなどで飾られ、さらに天井からはバスケット織りのランプがまるでろうそくの明かりのように空間を優しく照らします。

サンライズ・プールの近くに位置するザ・スパ・アット・ワイキキには4つのトリートメント・ルーム、マニキュア&ペディキュア・ステーション(バルコニー付)と各種スパ・サービスが用意されています。またイン・ルームのマッサージやスパ・サービスのご要望にも応じます。

ザ・ワイキキ・エディションでは、ユニークかつここでしかできない体験をモダンなベスト・パーソナル・サービスと合わせて提供することを第一に掲げています。イアン・シュレイガーは、彼独自のビジョン、パッション、さらに最高品質へのこだわりをもって、マリオット・グループとのコラボレーションで特別なブランドを生み出し、ブランドに負けないインパクトと影響力を打ち出したいと考えました。彼の画期的なコンセプトは、他の追随を許さないエッジとユニークさ、さらに既存のホテルには無い特異性をもたらし、エディションを特別なホテルブランドとしての成功に導きました。シュレイガー氏はクリエイティブ面を監督し、コンセプト、デザイン、マーケティングに関する彼のビジョンを提供しています。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
ザ・ワイキキ・エディション日本地区PRエージェンシー、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。

TEL: 03-3403-5328 / e-mail: info@kentosnetwork.co.jp

<http://www.kentosnetwork.co.jp>

